

歯科材料 5 歯科用接着充填材料
 管理医療機器 歯科用象牙質接着材 42483002
 (歯科セラミックス用接着材料 70815000、歯科金属用接着材料 70921000、歯科用知覚過敏抑制材料 70926000)

オプチボンド eXTRa

再使用禁止 (ユニドースタイプ、塗布用ディスポーザブルアプリーケーターチップ)

【禁忌・禁止】

- ・本材又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- ・再使用禁止 (ユニドースタイプ、塗布用ディスポーザブルアプリーケーターチップ)

【形状・構造及び原理等】

構成：プライマー、アドヒーシブ

性状：ペースト

容器：ボトルタイプ/ユニドースタイプ

付属品：塗布用ディスポーザブルアプリーケーターチップ

分取皿

ユニドースタイプ

ボトルタイプ



成分：グリセロールジメタクリレート、Bis-GMA、フィラー
 ヒドロキシエチルメタノール、カンファーキノン
 アセトン、エタノール、精製水、その他

原理：プライマーにより接着に適した被着面を形成し、その後アドヒーシブを塗布して歯科重合用光照射器で光照射すると、成分のモノマーが重合反応して硬化し被着面と接着する。また、歯面に塗布することにより象牙細管に浸透して、これを封鎖して知覚過敏を抑制する。

【使用目的又は効果】

本品は「歯科用象牙質接着材」、「歯科セラミックス用接着材料」、「歯科金属用接着材料」及び「歯科用知覚過敏抑制材料」に該当する多目的の歯科用接着材であり、使用目的又は効果は以下のとおり。

歯の窩洞・欠損への修復又は人工歯冠 (セラミック製補綴物、無機フィラーを含むレジン材料又は金属製補綴物) 補修のための修復材料の接着、及びセラミック製修復物・補綴物又は金属製修復物・補綴物の接着に用いる。また、象牙質又は形成象牙質の知覚過敏の抑制に用いる。

【使用方法等】

[直接修復]

1. 窩洞または欠損の前処理
 - ① ラバーダム等で防湿する。
 - ② フッ化物を含有しないクリーニングペーストで未処理の歯を軽く清掃する。
 - ③ ウォータースプレーで隅々まで洗浄し、エアで乾燥する。
2. プライマーの塗布
 - ① ボトルタイプ使用の場合は、分取皿に1~2滴採取し、直ちにキャップを締める。次に塗布用ディスポーザブルアプリーケーターチップを湿らせる。ユニドースタイプの場合は、容器を開けてディスポーザブルアプリーケーターチップ (以下、アプリーケーターチップ) を挿入し、飽和させる。
 - ② エナメル質/象牙質表面にプライマーをブラッシングするように20秒間塗布する。
 - ③ 中程度のエアブローを5秒間行う。
3. アドヒーシブの塗布
 - ① ボトルタイプ使用の場合は、ボトルを少し振ってから、分取皿に1~2滴採取し、直ちにキャップを締める。次に塗布用ディスポーザブルアプリーケーターチップを湿らせる。ユニドースタイプの場合は、容器を開けてアプリーケーターチップを挿入し、飽和させる。
 - ② エナメル質/象牙質表面にアドヒーシブを軽くブラッシングするように15秒間塗布する。
 - ③ 5秒間、エアブローする。
4. 光照射
 歯科重合用光照射器を用いて、10秒間*光照射する。
5. コンポジットレジン充填
 使用する歯科材料の使用説明書等にしたがって修復を行う。

[間接修復]

1. 修復物の処理
 製造元の使用説明書に従い、修復物の内部表面を前処理する。

※ 一般的な準備

(ニケイ酸リチウム、セラミック、ポーセレン)

- ① 接着面を50 μ のアルミナ、0.2MPa(30psi)の圧力でサンドブラストする。
- ② フッ化水素酸で1分間、エッチングを行う。
- ③ アドヒーシブ、またはシランプライマーを塗布し、初めは微風で、次に強風でエアブローし、アドヒーシブの液溜まりができないようにする。
- ④ 歯科重合用光照射器で10秒間**光照射する。

(金属ベース、ジルコニウムベース、アルミナベース、コンポジットレジン)

- ① 接着面を50 μ のアルミナでサンドブラストする。圧力は金属ベース、ジルコニアベース、アルミナベースで0.4MPa(60psi)、コンポジットレジンで0.1MPa(15psi)で行う。
- ② 接着面にアドヒーシブを塗布し、初めは微風で、次に強風でエアブローし、アドヒーシブの液溜まりができないようにする。
- ③ 歯科重合用光照射器で10秒間**光照射する。

2. 歯面処理

ウォータースプレーで洗浄し、エアで乾燥させる。

2.1 プライマーの塗布

- ① ボトルタイプ使用の場合は、分取皿に1~2滴採取し、直ちにキャップを締める。次に塗布用ディスポーザブルアプリケーションチップを湿らせる。
ユニドースタイプの場合は、容器を開けてディスポーザブルアプリケーションチップ（以下、アプリケーションチップ）を挿入し、飽和させる。
- ② エナメル質/象牙質表面にプライマーをブラッシングするように20秒間塗布する。
- ③ 中程度のエアブローを5秒間行う。

2.2 アドヒーシブの塗布

- ① ボトルタイプ使用の場合は、ボトルを少し振ってから、分取皿に1~2滴採取し、直ちにキャップを締める。次に塗布用ディスポーザブルアプリケーションチップを湿らせる。
ユニドースタイプの場合は、容器を開けてアプリケーションチップを挿入し、飽和させる。
- ② エナメル質/象牙質表面にアドヒーシブを軽くブラッシングするように15秒間塗布する。
- ③ 初めは微風で、次に5秒以上強風でエアブローし、アドヒーシブの液溜まりができないようにする。

2.3 光照射

歯科重合用光照射器を用いて、10秒間****光照射する。

3. 修復物・補綴物の接着

A. ベニアの接着

- ① ベニアの内側に歯科材料（以下、セメント）を塗布し、歯に装着する。
- ② 使用するセメントの使用説明書等にしがって硬化作業を行う。

B. クラウン、ブリッジ、インレー、アンレー、及び金属ベースの補綴物

- ① セメントを補綴物または、前処理した歯面に塗布し、補綴物を装着する。
- ② 使用するセメントの使用説明書等にしがって硬化作業を行う。

C. ポストボンディング及びコアビルドアップ

- ① 使用するポストの使用説明書等に従って、ポストの表面処理をする。
- ② 接着する窩洞内全体にプライマーを塗布し、エアブローして薄層にする。
- ③ 同様にアドヒーシブを塗布し、軽くエアブローした後、歯科重合用光照射器を用いて、10秒間**光照射する。
- ④ ポストの表面全体にアドヒーシブを塗布し、エアブローして薄層にした後、歯科重合用光照射器を用いて、10秒間*光照射する。
- ⑤ ポスト表面にセメントを塗布し、装着する。
- ⑥ ポストをわずかに揺り動かし、空気が溜まらないようにする。
- ⑦ 使用するセメントの使用説明書等にしがって硬化作業を行う。
- ⑧ 使用するコアの使用説明書等に従って、コアビルドアップを行う。

*：推奨照射時間

「オブチラックス 501」の標準照射モード、11mm ライトガイド
使用時は10秒間

「デミ」、「デミ プラス」、「デミ ウルトラ」使用時は5秒間

**：使用する歯科材料が「エヌ・エックス・スリー」の場合、
光照射は省略できる。

***：使用する歯科材料が「エヌ・エックス・スリー」の場合、
光照射は省略でき、その場合はアドヒーシブ塗布後に15秒間
強風圧でエアブローする。

*、**及び***に記載の製品すべて：

製造販売業者 カボデンタルシステムズ株式会社

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 直接覆しないこと。
- 未重合物質（メタクリル酸系モノマー含有樹脂）は、接触皮膚炎や、歯髄損傷を起こすことがあるので、皮膚、眼及び柔組織への接触を避けること。
- 眼及び皮膚に接触した場合は、直ちに水洗いすること。眼に入った場合は、眼科医の診断を受けること。
- 本品の使用においては、リン酸エッチングをしなくても十分な接着強度を得られるが、必要に応じてリン酸エッチングをしてもよい。その場合、いずれの修復においても窩洞又は欠損/歯面処理の後にリン酸エッチングを行い、エッチング材を完全にすすいでから、次の手順へと進むこと。
- 本品は可燃性であるので、火気の近くで使用しないこと。また、火気の近くに置かないこと。また、分取皿に採取したら直ちに使用すること。
- 本品は揮発性の成分を含むので、使用後は直ちにボトルのキャップを締めること。
- 窓際、デンタルライト等、明るい場所で使用すると硬化するので、遮光するか、強い光の当たらない場所で使用すること。
- 塗布用ディスポーザブルアプリケーションチップは、プライマーとアドヒーシブとで別々のものを使用すること。
- アドヒーシブを使用する時は、使用前に容器を5秒程度振ること。
- 指定の歯科材料以外は使用しないこと。
- 接着手順の前に接着面が、唾液または血液で汚染しないように注意すること。
- 光重合が不十分な場合は、十分な接着強度が得られないので、適切に光照射すること。
- 支台築造では、光重合型又はデュアルキュア型のコア材を使用すること。コア材は必ず築盛1層ずつ光重合すること。
- 修復物・補綴物に塗布する際は、液溜まりができないようにすること。液溜まりができた場合は軽いエアで除去してから、光照射を行うこと。
- 他の歯科用製品と混ぜて使用しないこと。

【使用上の注意】

【重要な基本的注意】

- 本材の使用により発疹などの過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- 本材又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症のある術者は、手袋等を用いて直接触れないようにすること。また、本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫瘍、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は、使用を中止し、医師の診断を受けること。
- 本材及び使用する歯科材料等は、接触皮膚炎や、歯髄損傷を起こすことがあるので、皮膚、柔組織への接触を避け、眼に入らないように注意すること。付着した場合には、すぐに大量の流水で洗浄すること。万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診断をうけること。
- 内服しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

- 本品は受領後、2~8℃で冷蔵保管すること。
- 直射日光、デンタルライト等の強い光があたる場所、及び火気の近くには置かないこと。
- 使用期限の過ぎたものは廃棄すること。

【有効期間】

- 24ヶ月 [自己認証（製造元データ）による]
使用期限は、包装に記載。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者氏名 : カボデンタルシステムズ株式会社
連絡先 : 03-6866-7272
製造業者 : カー社 (Kerr Corporation)
国名 : アメリカ (U.S.A.)